

序

日本版ホスピタリストが今後の日本の医療のキーとなる！

1. ホスピタリスト（病院総合内科医）こそ高齢化社会を乗り切るのに重要である

ジェネラリストは臓器横断的に、社会的なことも含め予防医学を含め全人的にケアする医師である。それを救急室で行うのが救急医，集中治療室で行うのが集中治療医，外来で行うのが家庭医，そして病院で行うのがホスピタリストである。多くの人が，重症になれば入院し，自宅で看取りをするつもりであった人も自宅緩和が困難になれば，入院緩和となる。特殊な高次医療が必要になれば，大学病院やがんセンターなど高度専門施設で治療をするが，それ以外の疾患になればやはり地域の病院に入院することも多い。図1に示す通り，地域の基幹病院はさまざまなパターンで患者を受け入れる。地域からだけでなく，時には緊急避難的にさまざまな医療機関から患者を引き受け診療する。そこを軸に退院後の行き先を考えることもある。地域の基幹病院の医師は，「目の前の患者さん」のアウトカムがよくなるようにさまざまな医療機関と連携する力が必要である。そのなかで「ホスピタリスト」の果たす役割は非常に大きく，疾患対応力だけでなく，本特集でとりあげるホスピタリスト特有の能力が必要である。

2. すべての内科患者に対応するホスピタリスト

日本の多くの，特に都会の大病院での内科の仕組みは図2Aではなかろうか。すなわち多くの臓器専門医が専門領域の患者を診療し，総合内科は各科の狭間にいる患者を診療する仕組みである。米国は図2Bのようになっており多くの総合内科医が必要に応じて臓器専門医のコンサルトを利用しながら入院患者を診療する。

ところで，日本の社会は「世界に先駆けた高齢化社会」という新たな局面を迎えている。患者は多数の疾患，健康アウトカムに影響を与える社会的問題を抱えた人が増加してきている。入院中のことだけでなく退院後のことも見据えながら診療するには，文字通り臓器横断的知識，スキルを身に付けた（身に付けようとしている）ホスピタリストとしての能力が今後，必要不可欠である。

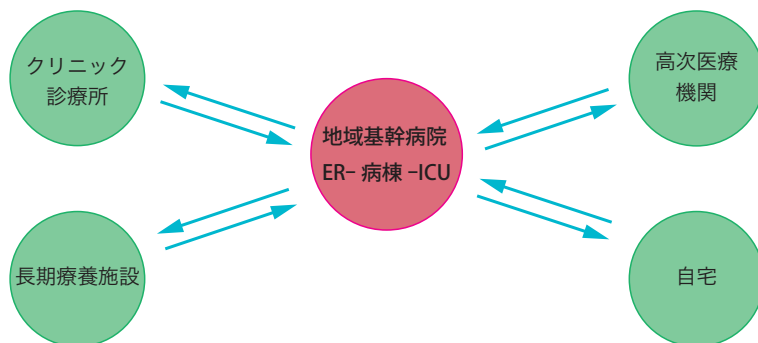
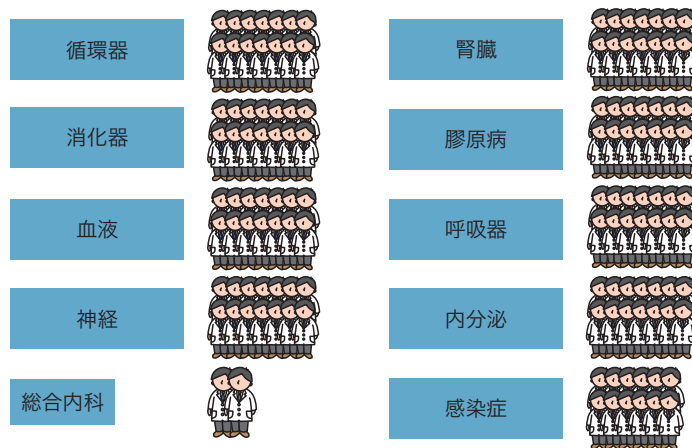


図1 病院の役割

A) 日本の大病院



B) 米国の病院

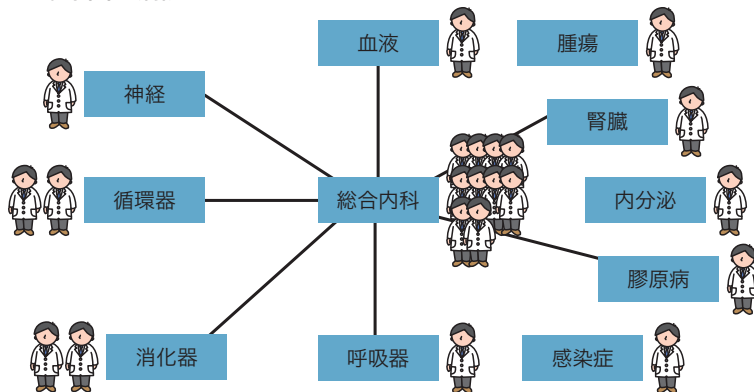


図2 日米の内科の仕組みの比較

図中の医師のイラストは医師の人数のイメージ

3. 今後の日本ではどのように hospital medicine を発展させるか？

日本の総合内科専門医や家庭医数は、米国に比べ圧倒的に少なく、臓器専門医数が多い（図3）。発展には、教育、診療、研究の3つの軸が重要である。患者の社会的問題も考慮に入れ臓器横断的な診療をするには、米国のように総合内科研修として、すべての患者さんを臓器横断的に診療するトレーニングが必要である。

研究も非常に重要である。臓器に関連した研究は臓器専門医が行う。hospital medicine 領域では、欧米を中心に臓器横断的な研究，すなわち，システム改革，倫理的なこと，医療安全，医療の質，患者のハンズオフなどに関する多岐にわたる研究がさかんに行われている。周術期も hospital medicine の専門分野であり研究対象になるだろう。

おわりに

今回，hospital medicine の特集を組ませていただいた。疾患だけでなく，周術期や急性期病院でのアドバンス・ケア・プランニング，院内で日常的に生じるクレーム，よく

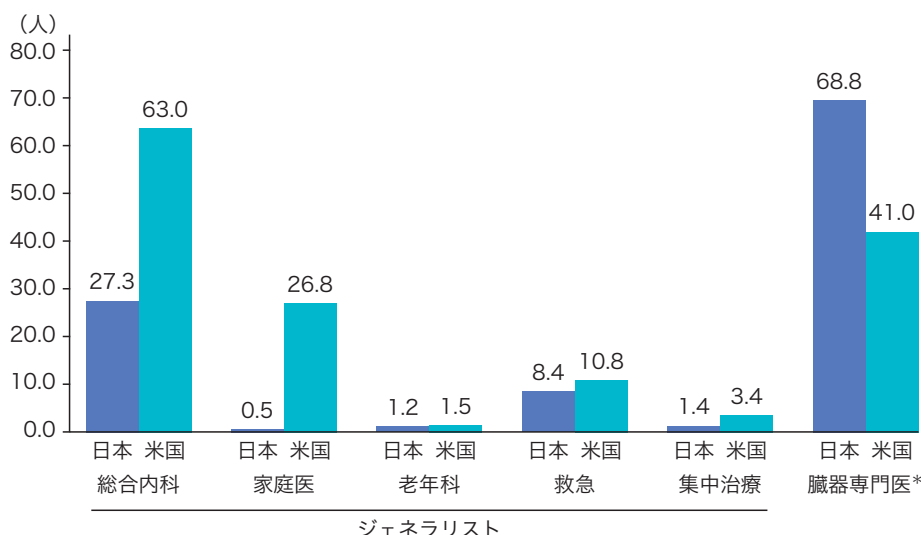


図3 人口10万人あたりの専門医数の日米比較

* 臓器専門医：循環器，消化器，呼吸器，腎臓，糖尿病・内分泌，リウマチ，感染症，血液，神経，腫瘍，アレルギー

日本の家庭医数は文献1（2018年7月31日時点），集中治療医数は文献2（2019年4月1日現在），その他の専門医数は文献3（2019年3月現在）を参考に作成．米国の専門医数は文献4を参考に作成．人口は日本1億2,642万人（文献5より），米国3億2,775万人（文献6より）として計算

ない事象の解決方法・改善法といったこともとりあげた．まだまだ認知されていない，しかし，今後の日本の医療のキーになる hospital medicine に少しでも多くの学生，研修医が興味をもっていただけると幸いである．

2019年7月

編者を代表して 東京ベイ・浦安市川医療センター総合内科
平岡栄治

文献

- 1) 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 患者・ご家族の皆様：専門医一覧：http://www.primary-care.or.jp/nintei_fp/fp_list.html（2019年6月閲覧）
- 2) 日本集中治療医学会 医療従事者向けコンテンツ 認定集中治療専門医一覧：<https://www.jsicm.org/specialist/>（2019年6月閲覧）
- 3) 日本専門医制度概報【日本専門医制度概報】（一般社団法人 日本専門医機構）：https://www.japan-senmon-i.jp/dcms_media/other/gaiho_1905.pdf（2019年6月閲覧）
- 4) American Board of Medical Specialties Board Certification Report 2017-2018：www.abms.org/media/194885/abms-board-certification-report-2017-2018.pdf（2019年6月閲覧）
- 5) 総務省統計局（2018年9月時点）：<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/201902.pdf>（2019年6月閲覧）
- 6) 外務省 アメリカ合衆国（United States of America）基礎データ（2018年5月時点）：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/data.html#section1>（2019年6月閲覧）